

南吉を活かしたまちづくり調査特別委員会会議録

令和2年9月29日（火）
午前9時30分 開会

○小出義一委員長

ただいまから、南吉を活かしたまちづくり調査特別委員会を開会します。
協議第1、調査事項についてを行います。

（1）当局からの報告についてを行います。

新美南吉読書感想画コンクールの応募点数の推移について報告をお願いします。

○山下由美図書館館長

<資料2に基づき報告>

平成26年度から平成30年度までの新美南吉読書感想画コンクールの推移を見ると着実に応募件数は伸びています。また、昨年は2,000点以上の応募もあったことから、事業が定着してきていると感じています。

○山本半治委員

南吉作品の中でも、どの作品の読書感想画が多かったか把握していたら教えてください。

○山下由美図書館館長

作品内容は把握していませんが、人気がある作品は「かにのしょうばい」、「デンデンムシノカナシミ」だと思います。また、「巨男の話（おおおとこのはなし）」も応募作品の中によくあります。感想画なので絵になりやすい作品が選ばれていると思います。

○小出義一委員長

読書感想画の応募作品の選択について、応募者は指定された新美南吉作品の中から選ぶのですか。

○山下由美図書館館長

応募作品は限定していません。新美南吉の作品でしたらどれでも感想画に選んでいただくことができます。

○鈴木幸彦委員

読書感想画に応募してくる小中学生は、自主的に応募している傾向ですか。または、学校を通じて応募作品を募っていますか。

○山下由美図書館館長

夏休みの宿題の一つとして、毎年学校に応募のお願いをしていますが必ず出して下さいと言うものではありません。学校ごとに対応は違い、学校側がいくつかある読書感想画コンク

ールの中から『南吉読書感想画コンクール』を指定し沢山の作品を応募していただく場合もあります。

○小出義一委員長

優れた作品の表彰や公表までのプロセスを教えてください。

○山下由美図書館長

審査会を経て、毎年12月の初めに表彰式を行っています。

佳作までの作品は、図書館で一定期間展示し、その後、優秀賞以上の作品を南吉記念館でも一定期間展示を行い、手作りの受賞作品集を配布しています。

○小出義一委員長

次に、新美南吉記念館に関わる市民活動団体などの活動内容について説明をお願いします。

○遠山光嗣新美南吉記念館長

<資料3に基づき、説明>

○小出義一委員長

何か質問のある方はいらっしゃいますか。

【「なし」との声あり。】

○小出義一委員長

無いようですので、次に(2)参考事例についてを行います。

○小出義一委員長

安城市の新美南吉を活かしたまちづくりに係る幾つかの事業について調べたことを報告します。

<資料4に基づき説明・報告>

- ①安城市子どもの読書活動推進について
- ②新美南吉絵本大賞について
- ③新美南吉関連事業を担っているアンフォーレ課について

○小出義一委員長

何か質問のある方はいらっしゃいますか。

【「なし」との声あり。】

○小出義一委員長

ないようですので、次に（３）市民年表についてを行います。

○水野尚美委員

半田市民が生涯を通じて、新美南吉のことについて触れることができる市民年表（案）についてを資料５に基づき説明

【目的】

- ・半田市で生まれ育つ中で、半田市民の誇りである児童文学作家の新美南吉の歴史や作品に触れる機会が生涯にわたってあるまちにす
- ・誕生時から高齢期の年代別で南吉とどのように関わることができるかを年表で示す
- ・新美南吉記念館だけでなく、多岐に渡る課が連携し、南吉に関する情報などを発信できる仕組みを作る

【提案事業（案）】

- ・誕生時の赤ちゃん訪問の際に、ファーストブックとして新美南吉の童話本を進呈し、南吉作品と出会う体験をする
- ・健診時にストップモーション・アニメーション「ごん」の予告編を流す
- ・自己の得意分野（感想文・画、漫画、書道、音楽など）を活かした表現で新美南吉童話賞などに応募できるようにする
- ・小学３・４年生で必ず新美南吉記念館に訪れ、新美南吉の作品と人柄に触れる など

○小出義一委員長

ストップモーション・アニメーション「ごん」の予告編を流すことについて、著作権に影響はありますか。

○遠山光嗣新美南吉記念館長

アニメーションは太陽企画という会社が制作し、著作権を持っていますので、上映を半田市で行うためには使用料がかかります。

○山本半治委員

小学４年生の児童を対象に「ごん」のストップ・アニメーションを見せていくとの方向性を市長に示していただいているが、現在ほどの様な状況ですか。また、講演権に支障はありますか。

○岩橋平武教育部長

半田市博物館へ必ず行く機会を設けている４年生には、その時期にあわせて半田市空の科学館のプラネタリウムで上映されているストップ・アニメーション「ごん」を観てもらおうことを考えていたのですが、コロナ禍の影響により、残念ながらストップ・アニメーション「ごん」の上映が観られない状況になっています。

小学生を対象とした継続的な上映についてはためには、著作権のことがありますので、考える必要があります。今年度については、上映する計画をしていましたが、新型コロナウイルス

ルス感染症対策のため実施されていないのが現状です。

○山本半治委員

このストップモーション・アニメーション「ごん」はこれからも半田市で有効に使っていくべきだと思っています。著作権の交渉も含めて半田市の南吉を活かすための「グッズ」としていくことについては、どのように考えていますか。

○遠山光嗣新美南吉記念館長

映画の著作権を持っている太陽企画とは長いお付き合いがあるので、聞くことはできると思います。しかし、今は映画を全国で上映されている最中ですので、今はそのタイミングではないと思っています。全国上映が一段落してからの方が交渉しやすくなると思います。

○小出義一委員長

他に何かありましたらお願いします。

○鈴木幸彦委員

市民年表の青年期では、「大学生とまちづくり研究」と、例を記載していますが、日本福祉大学の学生などと一緒に南吉を発信する活動など既に行われていることはありますか。また、児童センターなどの場所を借りて、地域の子どもたちに木工作業などの工作を通じて南吉を発信するなど仕掛けづくりをすることについてはどのように考えますか。

○遠山光嗣新美南吉記念館長

保育士の養成過程において、南吉記念館で子どもたちを対象としたワークショップを行っていますが、地域に出向いての活動はありません。人脈等を作っていくことでできることがあればいいなと思います。

○小出義一委員長

この特別委員会としての提言をどのようにまとめていくかについてですが、市民年表の内容については肝になるかと思います。細かな年表にするのか、または、年表の中身も含めて市で考えていくべきというような提言にするのかで内容は変わってくると思います。

年表では、関係する部署が多岐にわたっており、予算の問題も生じてくることから、教育委員会が主体となって進めることはできるのか又は、どこが主導権を持って進めていくのかを検討しないといけないと思います。

○岩橋平武教育部長

提言については、幹部会で報告し全課の協力得たうえで、教育委員会が主体となって関係する課へ依頼していくことは可能です。

○水野尚美委員

南吉と言えば彼岸花のイメージが強くあり、記念館周辺だけでなく、市内全体に彼岸花を増やしていくことについて、公園をつくるときに彼岸花の球根を必ず植えることも含めて予算をとってもらうことは可能ですか。

○岩橋平武教育部長

提言をいただければ可能かと思います。

○小出義一委員長

提言が具体的すぎると、提言された事だけをやればいいになってしまう恐れがあるように思います。例えば、地域の子どもたちに向けて、南吉を啓発するための工作が必要な「理由」をしっかりと提言の中で示し、それを実現するための内容は各課がしっかりと考えて実施できるようなものにしたいと思いますがいかがでしょうか。

具体的な内容がどのようなものが出てくるか、環境づくりのためにどうしたら良いのかなど整理していきたいと思います。そのための仕掛けとして絵本だったり、感想画だったりを提案したいと思います。

○山本半治委員

水野議員からご提案いただいた、市民年表は非常に分かりやすく良いものだと思います。この内容をしっかりと精査したもので出せば、当然我々の委員会としての提言ですから、その部分が教育委員会の主管であろうが、市民協同課の主管であろうが、教育部長が中心となって振っていただければ実現できると思います。ですから、年表の中身をしっかりと考えながら進めていってみたいと思います。

○小出義一委員長

では、年表については、皆さんと協議しながら委員会として固まったものまでを議論したいと思います。

これを全部やれではなく、委員の意見としてこのような取組みがあるといいなということの前段で述べておき、提言として委員会でここまでまとめたので、この先は当局でしっかりとみんなで実現して下さいというような投げかけをしたらどうかと思いますが、このような進め方でよろしいでしょうか。

○山本半治委員

この委員会から提言することは是非実行して頂きたいと出すわけですから、具体的に提言すれば、後は行政が考えて実施してくれると思います。

○小出義一委員長

他、皆さんはどのようにお考えですか

○渡辺昭司委員

提言の仕方として、予算のことがあるので具体的な事業内容を書いてもいいと思います。

○鈴木幸彦委員

委員長が考えてきた方向性と合っていますか。

○小出義一委員長

方向性は合っています。皆さんから頂いたご意見は非常にいいと思っています。童話賞に重きを置いてきましたが、南吉にどう触れるのがいかに大事かという方向にかなりシフトしています。そして、各担当課にも考えていただけるような進め方をしたいと思います。これが核となるところで、上手くいけば南吉文化が市民に根付いていく仕掛けに繋がると思います。

○渡辺昭司委員

各世代に向けた提言をしていくことは共有できたので、水野議員に作っていただいた年表をベースに委員会で協議しながら進めていただきたい。

○嶋崎昌弘委員

課題と改善ポイントは、どのように当てはめていくお考えですか。

○渡辺昭司委員

資料1については、ある程度年表にあてはめられる内容になっているので、どの世代にどのような内容であてはめていくかだと思います。

○小出義一委員長

年表は整理していく中の枠組みの一つだと思っています。

○水野尚美委員

市民年表を考えたのは、「南吉を活かしたまちづくり」ということから、幅広い年齢層に南吉に関することを広めたいと思ったことが一つです。また、南吉に関する事業は教育委員会がやることというイメージを変えるためでもあります。年表を作ることで、スポーツ課や建築課など、全庁が事業を考える時に南吉を意識することで随分変わると思います。南吉は半田市にとって大事な人であるという意識を持って事業を考えていただくきっかけにしたいので、年表があれば伝わりやすいと思いました。

○岩橋平武教育部長

年表は目的ではなく手段だと理解しています。全庁的に取組むと言うことが、最終的には、南吉を活かしたまちづくりにつながると思います。新美南吉記念館だけでなく、全庁的に様々な事業に取組む時には、南吉に関わることも検討することが必要だと提言していただけると全庁に広がりますし、正にハードも含めたまちづくりに繋がると感じます。

○小出義一委員長

何か他にご意見のある方、質問のある方はいらっしゃいますか。

【「なし」との声あり。】

○小出義一委員長

ないようですので、次に（４）市内研修と県内視察についてを行います。

○山本半治委員

市内研修について、新美南吉記念館元館長の山本英夫さんを講師にお招きし勉強会を実施することについて説明。

○竹内功治委員

子どもたちが南吉童話について深く理解するためのアプローチの仕方についてアイデアを頂けると思うので、研修の実施は必要だと思います。

○小出義一委員長

では、山本英夫さんと日程調整を進めたいと思います。

○鈴木幸彦委員

委員長から先ほど安城市のことについて説明があり、半田市では安城市と比べると南吉に触れる機会が少ないなと思いました。ですので、安城市へ視察を行い、実際に安城市ではどのようなことに取組んでいるのかなど話を聞くことはよいかと思います。

○小出義一委員長

県内視察の提案ですね。視察で参考になることはあるかと思いますが、皆さん如何でしょうか。

○山本半治委員

生誕100年から、安城市はどのように進んでいるかについても興味がありますので、視察の機会があれば行きたいと思います。

○小出義一委員長

それでは、新美南吉記念館元館長の山本英夫氏を講師に招いた研修会と安城市への県内視察を日程調整し進めさせていただきます。日程案は、9月28日又は10月5日のどちらか一日で実施したいと思います。午前市内研修をし、午後県内視察の計画になります。このことについて、ご意見ありますか。

【「なし」との声あり。】

○小出義一議員

次に、（５）その他についてを行います。
何かある方はいらっしゃいますか。

【「なし」との声あり。】

○小出義一委員長

無いようですので、以上で、南吉を活かしたまちづくり調査特別委員会を閉会します。
お疲れ様でした。

午前11時33分 閉会